

湘南しんきん ディスクロージャー ～ 街にいい風～



The Disclosure of The Shonan Shinkin Bank 2022

ごあいさつ

日頃より私ども湘南信用金庫に格別なご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2021年度の日本経済は、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症の影響により、力強さを欠いた展開となりました。9月末には緊急事態宣言等が全面解除されるとともに経済活動の制限も段階的に緩和され、景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、年明け以降は、オミクロン株の拡大を背景としたサプライチェーンリスクの顕在化や原材料価格の高騰等により、再び景況感の悪化が顕著となるなど厳しい環境が続きました。一方、金融市場においては、ロシアのウクライナ侵攻等により日経平均株価が一時24,000円台まで下落しましたが、期末にかけては、円安による輸出企業への業績回復期待などから28,000円台まで持ち直しました。



このような状況下、当金庫は地域に根差す金融機関として同感染症によって多大な影響を受けている地域の事業者にしっかり寄り添い、お客さまの資金繰り支援や本業支援に積極的に取り組んでまいりました。また、自治体や商工会議所、商工会、大学、信金中央金庫ならびに外部連携機関とも協力しながら、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、新分野への展開や事業転換といった事業継続に向けた新たなチャレンジに対しても積極的に支援してまいりました。

その結果、2022年3月末は、預金積金が1兆2,804億円、貸出金が7,320億円といずれも過去最高残高を更新し、また、2021年度の決算は、業務純益31億円、当期純利益16億円を計上することが出来ました。皆さまから賜りましたご支援につきまして、厚くお礼申し上げます。

2022年は「未来のために 変化を恐れず挑戦しよう」をスローガンに掲げ、「できない理由を考える」のではなく、「どうしたらできるか」、「何ができるか」を考え、お客さまを笑顔にする仕事を続けてまいります。

当金庫は2024年3月に創立100周年を迎えます。信用金庫の原点に立ち返り、地域との絆を深める活動を重ね、これからも地域の皆さまから必要とされる信用金庫であり続けられるよう努めてまいります。

地域と共生し続ける「湘南しんきん」へのご理解を一層深めていただくために本ディスクロージャー誌を作成しました。ご高覧いただき、少しでも当金庫を身近に感じていただけたら幸いです。

2022年7月

湘 南 信 用 金 庫

理 事 長 鷺 尾 精 一

2021年度決算概況

当金庫の2021年度における決算概況をご説明します。

預金積金は、年金受給者等の個人預金や法人先の預金が順調に増加し、前期末比260億円増加の1兆2,804億円となりました。

貸出金は、事業性融資取引先への新型コロナウイルス対策関連融資等に注力し、また、地域のお客さまに対する消費者ローンの増加も加わり、前期末比55億円増加の7,320億円となり、いずれも過去最高残高を更新しました。

収益は、貸出金利息が、新型コロナウイルス対策関連融資への取組みや新規貸出金の獲得競争の激化による貸出金利回の低下などにより前期比56百万円減少の117億35百万円となりました。余裕資金運用利息は、市場金利が低水準で推移したものの、資金の効率的な運用を行い、同1億79百万円増加の14億25百万円となりました。以上の結果、業務収益は同56百万円減少の150億90百万円となりました。

一方、費用は、預金利息が、利回の低下に伴い前期比1億59百万円減少の4億80百万円となりました。経費は、人件費が同30百万円、物件費が同3億72百万円減少したことから、税金を含めた経費全体で同2億74百万円減少の101億98百万円となりました。また、一般貸倒引当金の戻入額が同2億24百万円減少し、1億69百万円となりました。以上の結果、業務費用は2億39百万円減少し、119億33百万円となりました。

これにより、業務純益は前期比1億83百万円増加の31億57百万円、コア業務純益は同4億57百万円増加の29億71百万円となりました。また、当期純利益は同5億58百万円増加の16億59百万円となりました。

DATA

- 常勤従業員数：715人
 - 店舗数：47店舗
 - ローンセンター：2カ所
 - 店舗外ATM：28カ所
- (2022年3月31日現在)

INDEX

ごあいさつ	
2021年度決算概況	1
経営理念	2
業績ハイライト2021	4
トピックス	6
地域活性化への取組み	8
文化的・社会的な地域貢献活動	9
地域密着型金融の取組状況	10
「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	12
ウィズコロナ・アフターコロナに向けた事業者支援	13
総代会	14
内部管理態勢・リスク管理態勢	16
法令等遵守態勢・顧客保護等管理態勢・金融ADR制度への対応	18
組織	19
経営体制	20
湘南しんきんのあゆみ	21
事業内容・信用金庫と銀行との違い	22
主な手数料	23
店舗一覧	24

- 本資料に掲載されている計数は、特に表示のない限り、単位未満を切り捨てて表示しています。
- 利回等については原則として小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また、構成比については原則として小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。
- 該当計数はあるが単位未満の場合は「0」を表示しています。また、該当計数がない場合には「－」を表示しています。

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。

湘南しんきん

検索



経営理念

▶ 湘南しんきんのミッション

永遠のテーマ

つくろう わが街 果たそう 役割

お客さまへのテーマ

街に いい風 あなたに いい風

▶ 湘南しんきんのビジョン

湘南しんきん100周年に向けた長期ビジョン

everything+1

全力で業務に取り組むのはもちろんのこと、そのほかに何か1つでもお客さまのお役に立てることはないか、常に考えようという意味を込めた「everything+1」。数ある金融機関の中から湘南しんきんをお選びいただき、お取引していただいたことに「真心と笑顔を添えて」感謝をお伝えします。

また、100周年後の新たな時代を見据えて、10年後をイメージした湘南しんきんの「あるべき姿」を全役職員で考え、新たに策定しました。

▶ 湘南しんきんのバリュー

行動指針

靴底減らし 耳傾け 汗流し
知恵絞り そして感謝する

ミッション
(存在意義)

ビジョン
(あるべき姿)

バリュー
(行動指針)

会員をはじめとする利用者の皆さまの利便性向上を図るため、地域金融機関としての専門性を生かし、地域社会における高度な金融サービスの提供に努めています。また、地域社会の一員として、地域のさまざまな行事や活動に積極的に参加し、地域金融機関としての役割とは何かをしっかりと見極め、地域の発展に寄与していきたいと考えています。

これからも、皆さまからいただいている信頼を支えに、公共的な総合金融サービス業の地位を一層強固にし、お客さまの目線にたって、地域社会の活性化に力を注いでいくことが当金庫に課せられた社会的使命であると考えています。



写真提供：鎌倉市観光協会

10年後をイメージしたあるべき姿

地域と共に成長し、みんなを笑顔にする信用金庫

湘南しんきんが目指す「あるべき姿」は、お客さまと地域の皆さまが「湘南しんきんと取引して良かった。」と笑顔になってもらえること。さらに、湘南しんきんで働く役職員が仕事に誇りを持ち、満足感・達成感・充実感を得て笑顔になれることです。



基本姿勢（ベーシック・スタンス）

現場を第一に、靴底を減らしてお客さまとの接点を増やし、地域の声に耳を傾け、“地域と共に”、“お客さまと共に”汗を流し、お客さまのために知恵を絞って、感謝の気持ちを忘れずこれからも全力で役職員一同業務に邁進してまいります。



「BEST」

Balance
バランス

Energy
エナジー

Speed
スピード

Timing
タイミング

を尽くす

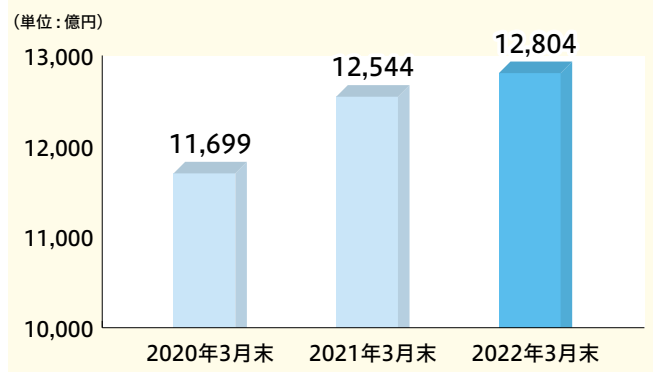
物事の本質を見極め、均衡をとりながら、力強さとスピード感を持ち、機を見て果敢に行動し、大きな力を地域貢献のために生み出してまいります。

業績ハイライト 2021

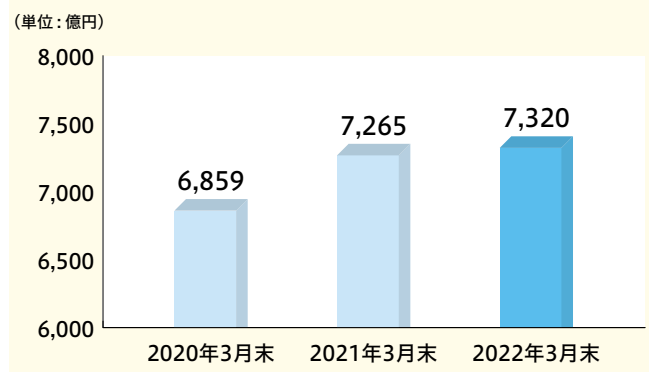
(1) 預金・貸出金の状況

2022年3月末の預金積金残高は、法人・個人預金ともに大幅に伸長した結果、前年度末比260億円増加の1兆2,804億円となりました。貸出金残高は、新型コロナウイルス対策関連融資への取組み等により、同55億円増加の7,320億円となりました。預金積金残高、貸出金残高、法人貸出先数いずれも過去最高を更新しました。

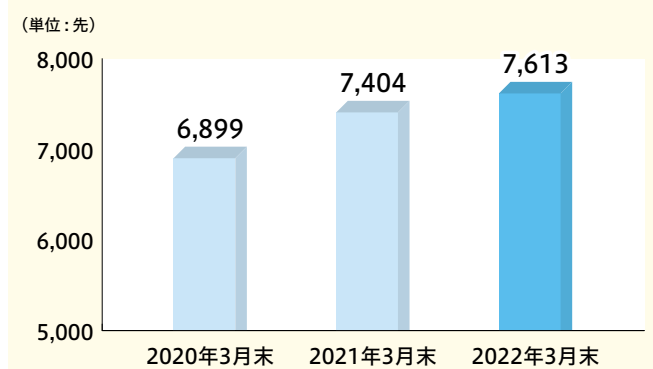
▼ 預金積金残高



▼ 貸出金残高

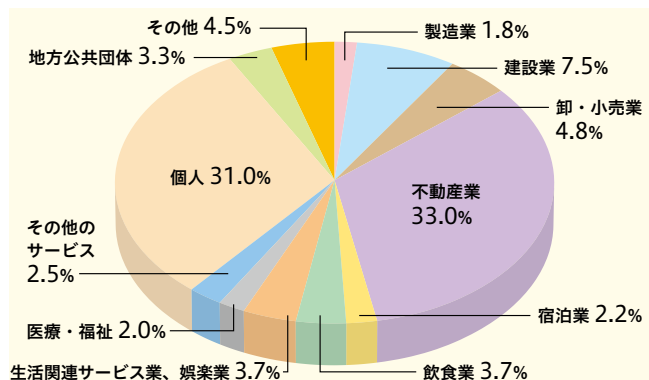


▼ 法人貸出先数



(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

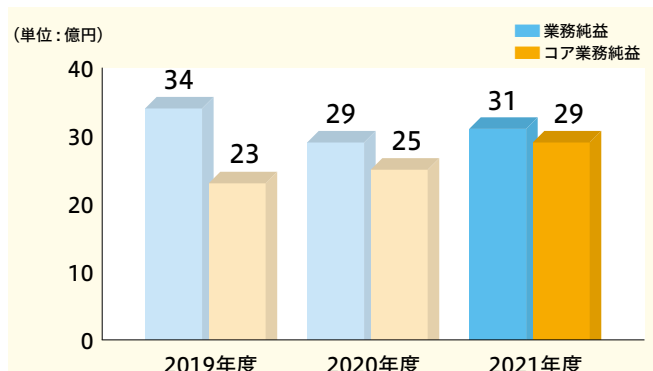
▼ 貸出金業種別内訳



(2) 損益の状況

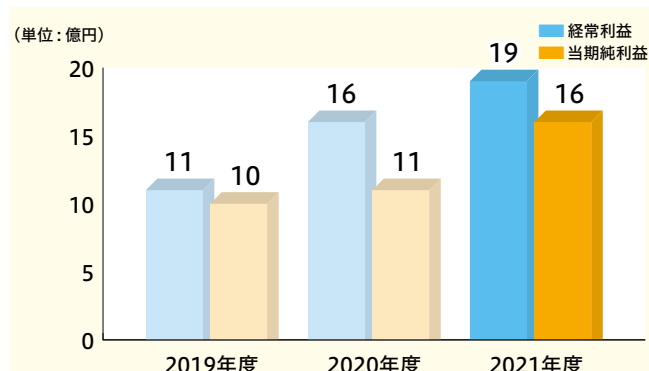
2021年度の本業の収益力を示すコア業務純益は、前年度比4億円増加の29億円、臨時収益・臨時費用（不良債権の引当など）を加減算した経常利益は同3億円増加の19億円、特別利益・特別損失を加減算し、税金などを差し引いた当期純利益は同5億円増加の16億円となりました。

▼ 業務純益・コア業務純益



(注) 増減は表上の数値による計算結果を表示しています。

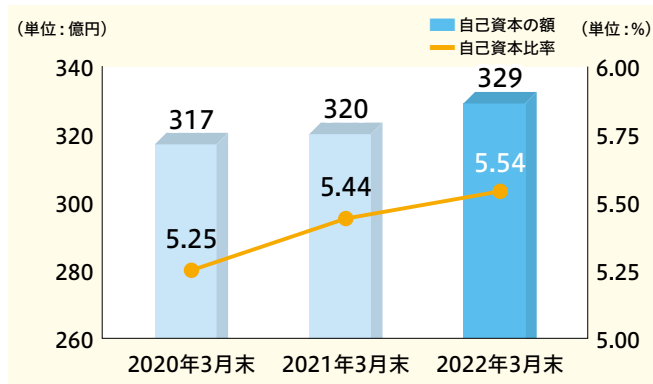
▼ 経常利益・当期純利益



(3) 自己資本の状況

2022年3月末の自己資本比率は5.54%となりました。これは、国内基準において4%を上回る「経営体質が健全で問題のない金融機関」という区分に入ります。

▼ 自己資本の額・自己資本比率



2022年3月末	
自己資本の額 (A)	329億円
リスク・アセット等 (B)	5,937億円
自己資本比率 (A) / (B)	5.54%

(注) 自己資本比率は、円単位による計算結果を表示しています。

用語の説明

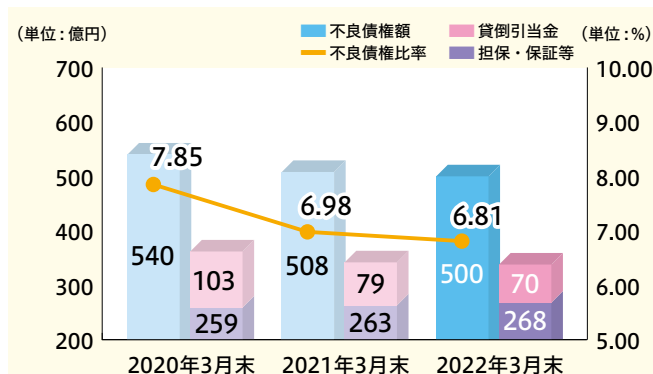
自己資本比率は、地域のお客さまからの出資金および過年度の利益を元とした利益剰余金等により構成される自己資本の額を分子とし、分母となるリスクアセット等（リスクのある貸出金や有価証券などの資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額）に占める割合のことで、経営の健全性を示す重要な指標であり、国内基準は4%以上とされています。

(4) 不良債権の状況

2022年3月末の不良債権額は、前期末比8億円減少の500億円となりました。

これにより、不良債権比率は同0.17ポイント低下し6.81%となりました。

▼ 不良債権額・比率／担保・保証等、貸倒引当金



2022年3月末	
正常債権 (A)	6,837億円
不良債権 (B)	500億円
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	127億円
危険債権	369億円
要管理債権	3億円
三月以上延滞債権	0億円
貸出条件緩和債権	3億円
合計 (C) = (A) + (B)	7,337億円
不良債権比率 (B) / (C)	6.81%
担保・保証等	268億円
貸倒引当金	70億円

(注) 1.不良債権比率は、円単位による計算結果を表示しています。

2.信用金庫法の改正により、信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法開示債権を一本化したため「三月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」を追加記載しています。

3.貸倒引当金は、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。

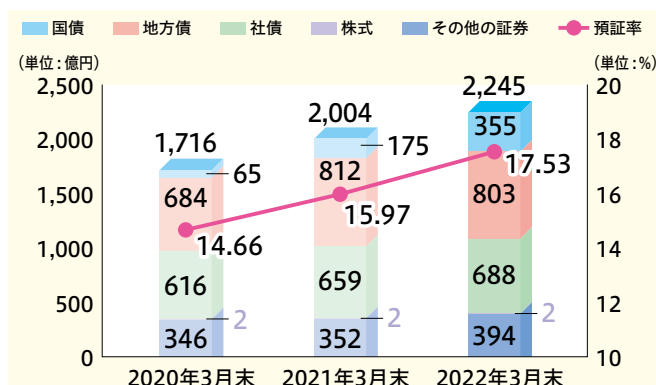
(5) 有価証券の状況

2022年3月末の有価証券残高は、前年度末比241億円増加の2,245億円となりました。

これにより、預証率は同1.56ポイント上昇し17.53%となりました。

国債、地方債、格付の高い社債等を中心に安全性を重視した有価証券運用を行っています。

▼ 有価証券内訳／預証率



2022年3月末	
国債	355億円
地方債	803億円
社債	688億円
株式	2億円
その他の証券	394億円
合計 (A)	2,245億円
預金積金残高 (B)	12,804億円
預証率 (A) / (B)	17.53%

(注) 預証率は、円単位による計算結果を表示しています。

TOPIC 1

神奈川県優良産業人として表彰されました

県内企業に勤務する従業員のうち地域商工業の振興に寄与し、特に優れた者が対象となる「第69回神奈川県優良産業人表彰」の授賞式が茅ヶ崎商工会議所で開催され、当金庫職員が同商工会議所亀井会頭の推薦により表彰を受けました。受賞した職員は、同商工会議所の常議員や金融部会長を務めるなど、地域の商工業振興に尽力したことを評価していただきました。当金庫は、商工会議所や他の外部機関と連携し、創業セミナーや各種勉強会を開催しております。これからも地域の事業者の経営課題解決に向けた支援を積極的に行ってまいります。



TOPIC 2

「創立100周年に向けたイメージポスター」(第3弾)を作成しました

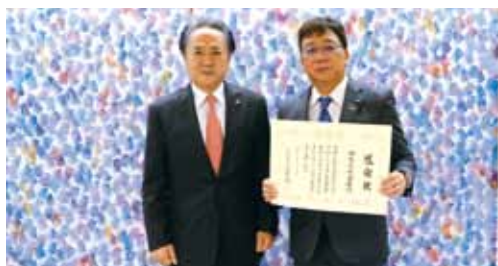
2024年3月に迎える創立100周年にむけて、第3弾となる職員をモデルとした「創立100周年に向けたイメージポスター」を作成しました。同ポスターは、「個人顧客編」、「事業者顧客編」、「ワークライフバランス編」、「プライベート編」の4種類を作成し、特に「事業者顧客編」は久里浜商店街の経営者や従業員の方にもモデルとして参加いただき、活気あふれるポスターとなりました。100周年にむけて、地域のお客さまに当金庫の元気で明るい爽やかなイメージを発信してまいります。



TOPIC 3

「横須賀市献血推進功労者表彰」の感謝状を授与されました

当金庫は、横須賀市から献血推進功労者表彰を受け、上地横須賀市長から感謝状を授与されました。当金庫では、2009年から毎年「信用金庫の日」(6月15日)の社会貢献活動の一環として、献血活動を実施しており、13回目の取組みとなった2021年度は34人の役職員が献血に協力しました。



TOPIC 4

営業店支援システムを導入しました

見込先、案件相談、融資稟議、実行等を一気通貫で管理することができる「営業店支援システム」を導入しました。営業店事務の効率化を図ることにより、今まで以上にお客さまとの面談時間を確保することを目的としています。また、今後機能を拡充し、更なるペーパーレス化も推進してまいります。



TOPIC 5 感染症対策で分散勤務を実施しました

新型コロナウイルス感染症対策として、役席者の分散勤務を実施しました。これは、同一店舗の役席者全員が同感染症に感染してしまうことを防ぐ取り組みであり、各店舗1名ないし2名の役席者が近隣店舗で分散勤務を行いました。お客さまに安心してご来店いただけるよう、引き続き感染防止対策を強化してまいります。



TOPIC 6 「通年ノーネクタイ」での就業を可能としました

役職員の働きやすい職場環境の向上および地球温暖化・省エネルギーへの継続的な取り組みの一環として、「通年ノーネクタイ」を可能としました。役職員の服装は原則、略式となりますが、お客さまに失礼とならないように清潔感ある服装・身だしなみに努めてまいります。



TOPIC 7 東京2020オリンピック聖火リレートーチを展示しました

東京2020オリンピックの神奈川県内の聖火リレーは、公道走行が中止となりましたが、相模原市緑区の橋本公園で点火セレモニーが開催され「トーチキス」で聖火がつなげられました。そのセレモニーで使用されたトーチを横須賀市在住の聖火ランナーの方からお借りし本店営業部に展示しました。



TOPIC 8 当金庫野球部が県内大会2冠を達成しました

第76回国民体育大会軟式野球競技神奈川県予選会において、当金庫は2年ぶり4回目の優勝を成し遂げました。また、第62回関東地区信用金庫野球大会神奈川県予選会においても優勝を果たし、県内大会2冠を達成しました。



◆SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2030年に向け、持続可能な世界を実現するため、2015年9月の国連サミットで採択された全世界で取り組むべき17の目標です。当金庫はこれまでも地域の持続的な発展に向けて、地域活性化や地域貢献活動等に積極的に取り組んできましたが、こうした取り組みは、SDGsの理念と軌を一にするものと捉え「湘南しんきんSDGs宣言」を公表しております。

引き続き、地域やお客さまの課題解決に取り組む、SDGsが目指す「持続可能な社会」の実現に努めてまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



ACTIVITY

1

地域活性化への取組み



課題・悩み事

地方創生
商店街活性化
創業・起業
ライフプラン
相続
資産運用
健康増進
販路拡大
補助金申請
経営改善
技術開発
事業再生
認定申請
事業承継

1 創業セミナーを開催しました

鎌倉商工会議所との共催にて創業セミナーを開催しました。同セミナーでは、実際に鎌倉で創業された経営者を講師としてお招きし、事業に関する考え方や苦労した点を説明していただきました。これからも創業される方が、不安なく事業を行えるようにしっかりとサポートしてまいります。



2 地元商店街のプロモーション動画制作に協力しました

京急久里浜駅東口の黒船仲通り商店街とすずらん通り商店街がタッグを組み、両商店街を舞台にしたプロモーション動画2作品（「久里浜グラフィティ」、「心のおつかい便」）を制作し、「YouTube」で配信しました。「心のおつかい便」には、当金庫の職員も出演しています。下記QRコードからご視聴できますので、ぜひご覧ください。



3 「観光プラットフォームafterコロナ研究会」で講演しました

産学連携先の神奈川大学が開催した「観光プラットフォームafterコロナ研究会」において、当金庫職員が観光事業者支援について講演しました。年金旅行の訪問先を東日本大震災の被災地とした試みが感謝されたことや事業再構築補助金の申請支援事例等を具体的に説明し、参加者から多くの質問をいただきました。



4 「しょうなん経営塾」第15期が修了しました

次世代の中小企業経営者育成を目的としている「しょうなん経営塾」の第15期は2021年4月に28人でスタートし、受講生全員が修了式を迎えました。経営者に必要な知識を体系的に学ぶだけでなく、ビジネスチャンスを得る異業種交流の場としてもご活用いただいております。



ACTIVITY
2
文化的・社会的な地域貢献活動
1 地域行事へ積極的に参加しています

追浜支店は、近隣に横浜DeNAベイスターズのファーム施設・グラウンドが2019年に完成したことに伴い、同チームのユニホームを着用して窓口業務を行いました。地元スポーツチームの応援を通じて地域を盛り上げていきます。



北久里浜支店は、恒例行事の「北久里浜クリーンキャンペーン」に参加しました。地元町内会・自治会・商店街の総勢100名が清掃活動を行い、活動を通じて地域の方々と親睦を深めることができました。


2 安全・安心の街づくりに取り組んでいます

運転技術向上や交通法規遵守の徹底を図るため、運転経験が浅い職員を対象とした「自動車運転講習会」を開催しました。月間交通標語を毎朝唱和するなど交通安全意識の醸成を図り、事故防止に努めています。



多発する特殊詐欺からお客さまの大切な預金をお守りするために、窓口やATMコーナーでの声かけを徹底し、警察と協力して被害の防止に努めています。


3 次世代の教育活動に取り組んでいます

神奈川大学および関東学院大学で寄付講座を開講しています。金融機関と中小企業の視点から地域経済がどのように成り立っているのかをテーマとして講義を行い、多くの学生に受講していただきました。



産学連携協定を締結している大学の学生11名を受け入れ、インターンシップを実施しました。最終日には、当金庫に対する提言をグループ毎にプレゼンテーションを行いました。



ACTIVITY
3

地域密着型金融の取組状況（2021年4月～2022年3月）

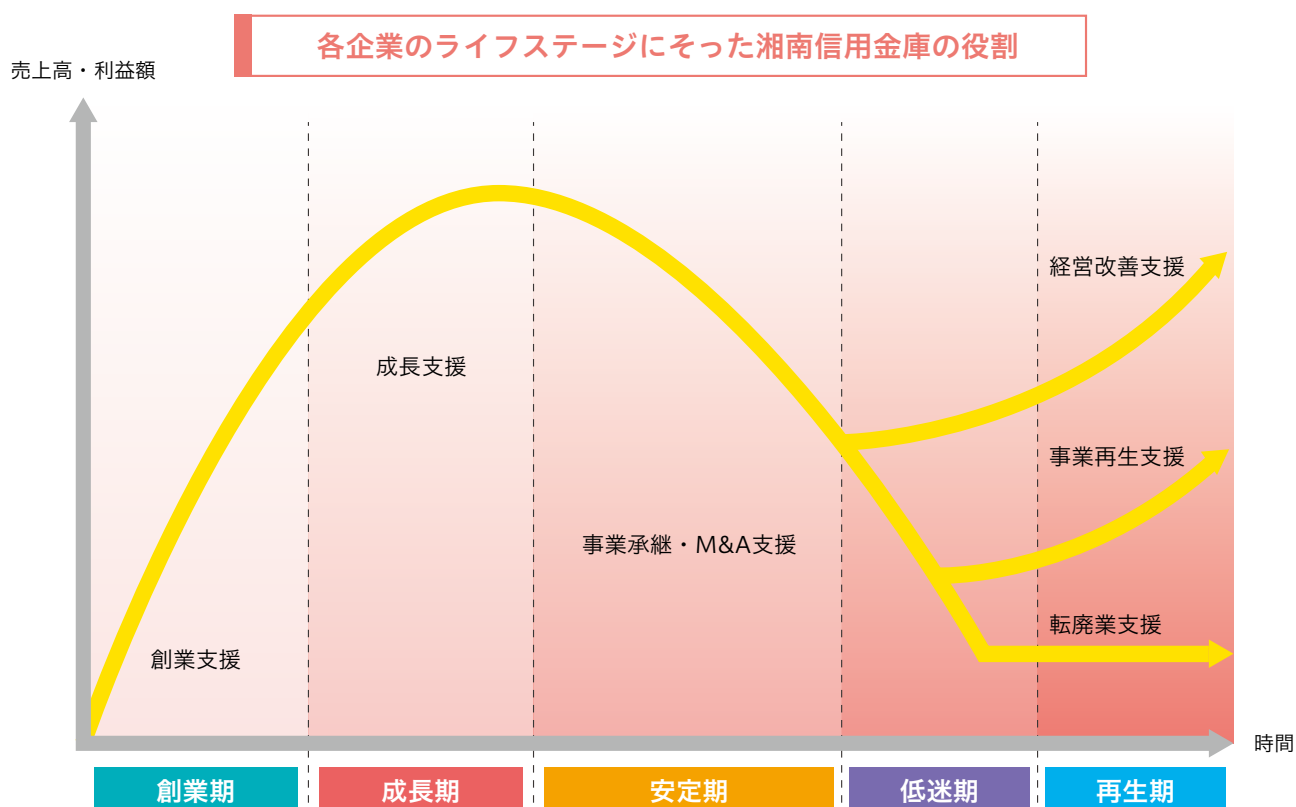
当金庫は、地域に根差した金融機関として「つくろう わが街 果たそう 役割」を永遠のテーマとし、皆さまとともに発展していくことを基本理念に、「地域密着型金融」を推進しています。ここでは「地域密着型金融の取組状況」と合わせて金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる「金融仲介機能のベンチマーク」を公表いたします。「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、引き続き「地域に寄り添うパートナー」として地方創生・地域社会発展のために全力を注いでまいります。

【1】当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率）の改善や就業者数の増加が見られた先数及び、同先に対する融資額の推移

	2021年3月末	2022年3月末
メイン先数	4,616先	4,692先
メイン先の融資残高	3,303億円	3,333億円
うち経営指標等が改善した先数	1,697先	1,818先
うち経営指標等が改善した先の融資残高	1,896億円	2,006億円

【2】ライフステージ別の与信先数および融資額

		合計	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	2021年3月末	9,515先	1,278先	850先	3,472先	555先	464先
	2022年3月末	9,759先	1,315先	739先	3,598先	852先	444先
融資残高	2021年3月末	4,638億円	332億円	617億円	1,985億円	292億円	817億円
	2022年3月末	4,739億円	304億円	483億円	2,152億円	525億円	723億円



ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援融資

当金庫では、地域やお客さまが抱える課題等を解決する専門部署「チーム湘南」を設置し、創業・新事業等のご相談を承っています。

また、外部機関との連携を密にし、情報交換会や勉強会を開催、ビジネスマッチングや各種認定・補助金の申請支援等にも力を入れています。

創業・新事業支援融資実績

2020年度	571先
2021年度	468先

経営改善・事業再生支援

当金庫では、お取引先の経営改善・事業再生を支援するため、専担部署を設置しています。同部署では、営業店との連携に加え、税理士・公認会計士等の外部専門家や信用保証協会・政府系金融機関・中小企業活性化協議会等の外部機関とも連携し、支援活動を行っています。

特に支援の必要性が高いお取引先を経営改善支援先と定め、業況の把握や資金繰り相談のほか、ビジネスモデルの再構築や財務基盤の改善に対する助言、経営改善計画の策定支援、定期的なモニタリングによる伴走支援に取り組むなど、ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえたお取引先の支援を行っています。

専担部署による経営改善支援先

2020年度	88先
2021年度	101先

【3】販路開拓支援を行った先数

2020年度	2021年度
9先	13先

【4】事業承継支援先数

2020年度	2021年度
2先	6先

【5】創業支援先数

	2020年度	2021年度
①創業計画の策定支援先数	10先	10先
②創業期の取引先への融資先数	41先	74先
	(プロパー)	
	(信用保証付)	
③政府系金融機関や創業支援機関の紹介先数	530先	394先
	9先	5先

【6】本業支援に関する研修等を実施した回数、参加者数および資格取得者数

	2020年度	2021年度
①研修実施回数	20回	29回
②参加者数	204人	203人
③資格取得者数（中小企業診断士）	10人	11人

【7】外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数

2020年度	2021年度
3先	15先

【8】本業支援に関する中小企業支援策の活用を支援した先数

2020年度	2021年度
22先	79先

【9】中小企業与信先のうち、無担保与信先数および無担保融資額の割合

	2021年3月末	2022年3月末
中小企業与信先数①	9,515先	9,759先
中小企業向け融資残高②	4,638億円	4,739億円
無担保融資先数③	6,603先	6,768先
無担保融資残高④	841億円	851億円
③／①	69.3%	69.3%
④／②	18.1%	17.9%

【10】中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合

	2021年3月末	2022年3月末
中小企業与信先数①	9,515先	9,759先
根抵当権未設定先数②	7,164先	7,355先
②／①	75.2%	75.3%

【11】中小企業与信先のうち、事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高の割合

	2021年3月末	2022年3月末
与信先数	26先	31先
融資残高	13億円	27億円
中小企業与信先数に占める割合	0.27%	0.32%
中小企業与信残高に占める割合	0.28%	0.58%

(注) 与信先数および融資残高は、当金庫独自の「事業性評価シート」に基づき融資を実行した先の期末先数・残高

ACTIVITY 4

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人与経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2020年度	2021年度
新規に無保証で融資した件数	973件	519件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	11.9%	10.0%
保証契約を解除した件数	22件	73件

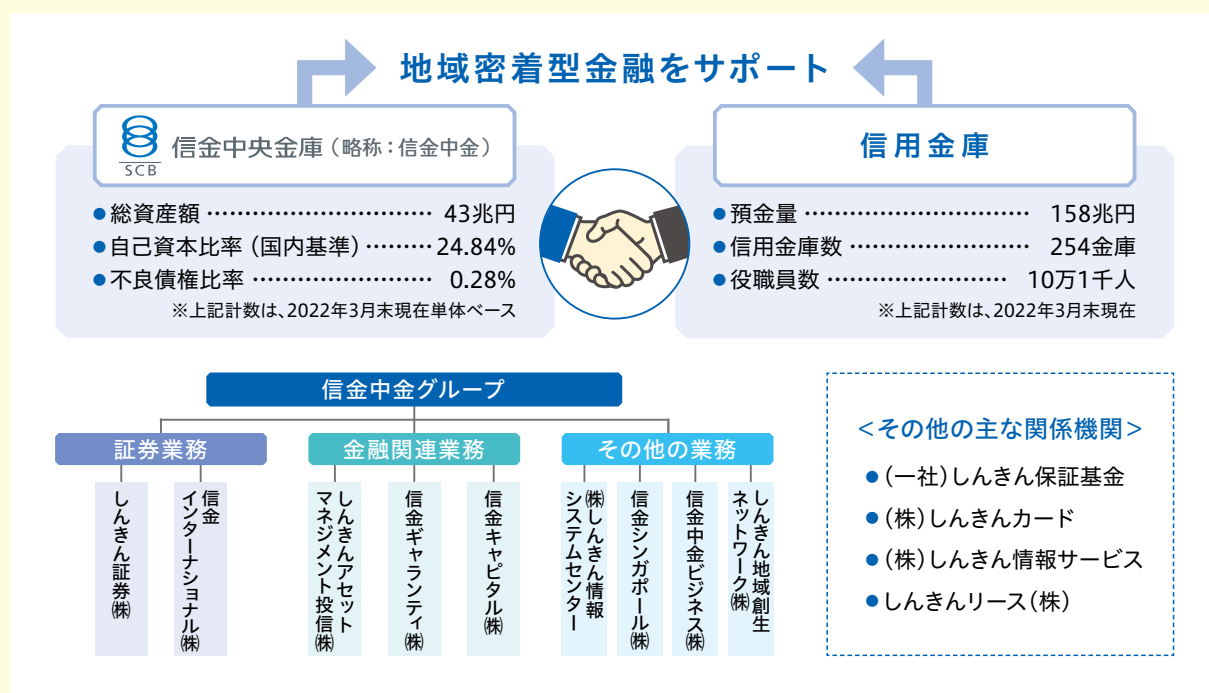
※「保証債務整理」については、当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づくお申し出はありませんでした。

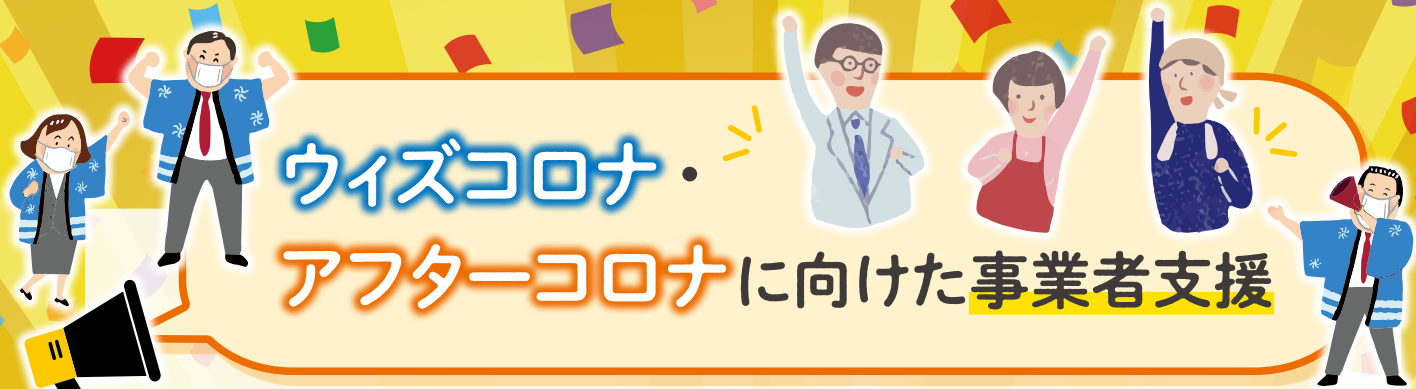
経営者保証に関するガイドラインの活用先数及び、全与信先数に占める割合

	2021年3月末	2022年3月末
全与信先数①	9,515先	9,759先
ガイドライン活用先数②	802先	431先
②／①	8.4%	4.4%

信用金庫業界の総合力で地域密着型金融をサポート

信用金庫業界は、信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫をはじめ、さまざまな関係機関が信用金庫とともにお客さまの多様な業務をサポートしています。





横浜中華街発展会協同組合から感謝状を贈呈されました

元町中華街支店は、横浜中華街発展会協同組合から感謝状を贈呈されました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の方を支援するための「緊急特別対策融資」をいち早く案内し、その後の「新型コロナウイルス感染症対応資金」などの取り扱いが始まるごとにスピーディーに対応したことを評価していただきました。



「事業再構築補助金」の申請を支援しました

ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、経済社会の変化に対応するために、新たな取組みに挑戦する事業者を応援しています。特に「事業再構築補助金」の申請支援に力を入れ、2021年度は114件支援を行い、52件採択することができました。

<「事業再構築の採択実績(2021年度)>

	支援者数	採択者数	採択率
第1回	29	8	27.6%
第2回	29	16	55.2%
第3回	27	12	44.4%
第4回	29	16	55.2%
合計	114	52	45.6%



～支援事例～

不動産業経営者が美容脱毛サロンをオープン！

不動産業（中古物件のリノベーション再販事業）を営む当金庫のお取引A社は、新型コロナウイルスの影響による仕入物件の減少により売上が伸び悩んでいました。

そこで不動産業で培ったマーケティング力や人脈を生かして美容脱毛サロンを開業することを決意しました。

開業資金を調達するために「事業再構築補助金」を活用することとし、当金庫が申請書の作成支援を行いました。

支援の結果、補助金が採択され、美容脱毛サロンをオープンさせることができました。



出資会員に対する優待制度のご案内

当金庫は、出資会員に対する優待制度を創設しています。未加入の方は、是非ご加入ください。

特典



**当金庫ATMの時間外手数料が
365日無料**

特典



**当金庫ATMでの本支店間振込
手数料が無料**

ご注意事項

- ①出資に加入いただいているお客様番号に基づき発行されたキャッシュカードが対象になります。
- ②当金庫ATMで当金庫キャッシュカードを使用した取引が対象になります。
詳しくはお取引の店舗までお問い合わせください。

総代会

総代会の仕組み

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念とする協同組織金融機関です。

会員となるためには定款で定める5,000円以上の出資をすることが必要ですが、出資金額の多寡に関係なく、会員は一人一票の議決権を持っています。

会員は総会を通じて信用金庫の経営に参加しますが、当金庫では会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では総会に代えて「総代会」を置いています。

総代会は、会員の皆さまの総意を適正に反映し充実した審議を確保するとともに、決算の承認、定款の変更、理事・監事の選任等、当金庫の重要事項を決議する最高の意思決定機関です。

会員の代表として、その総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っているのが、総代会を構成する総代です。当然、その選考にあたっては適正な手続きに基づくことが求められます。

当金庫では2004年12月8日「総代選任規程」を制定し、以下のような基準と方法によって総代を選考しています。

総代候補者選考基準

資格要件

- ・当金庫の会員であること
 - ・原則、就任時点で満80歳を超えていないこと^(注)
- (注) 2017年7月、総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせの改定に伴い定年制度を導入しました。

適格要件

- ・総代としてふさわしい見識を有している方
- ・良識をもって正しい判断ができる方
- ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
- ・そのほか総代候補者選考委員が適格と認めた方

総代とその選考方法

総代の任期定数

- 総代の任期は3年です。
改選時期は7月で、2020年7月に改選を行いました。
- 総代の定数は、120人以上160人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。
なお、2020年7月の総代改選で152人の総代が就任しました。また、会員数は2022年3月末日現在53,073先となっています。



総代の選考方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

総代は、前項の「総代候補者選考基準」に基づき、次の手続きを経て選考されます。

- ① 当金庫の営業区域を7区の選任区域に分け、選任区域ごとに会員数を案分して総代の定数を定めます。



- ② 会員の中から総代候補者選考委員を選任します。総代会の決議により、選任区域ごとに会員の内から選考委員を委嘱します。



- ③ 総代候補者選考委員が総代候補者を選考します。選考した総代候補者を理事長に報告し、その氏名を1週間以上店頭掲示し、掲示している旨を公告します。



- ④ 総代候補者を会員が信任します。異議があれば公告後2週間以内に申し立てていただきます。異議がなければ選任されます。



- ⑤ 理事長は、総代を委嘱します。選任された総代の氏名を店頭に1週間以上掲示します。

当金庫では、総代会に限定することなく、役職員の日々の訪問活動や利用者満足度調査を実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

第98期通常総代会に関する事項

2022年6月23日、第98期通常総代会を開催し、下記の事項が付議され、承認されました。

報告事項

- ・第98期業務報告及び貸借対照表並びに損益計算書報告の件

決議事項

- ・第1号議案 第98期剰余金処分案承認の件
- ・第2号議案 総代候補者選考委員任期満了に伴う改選の件
- ・第3号議案 会員除名の件
- ・第4号議案 理事任期満了に伴う改選の件
- ・第5号議案 監事任期満了に伴う改選の件

総代のご紹介

▼ 総代の氏名等

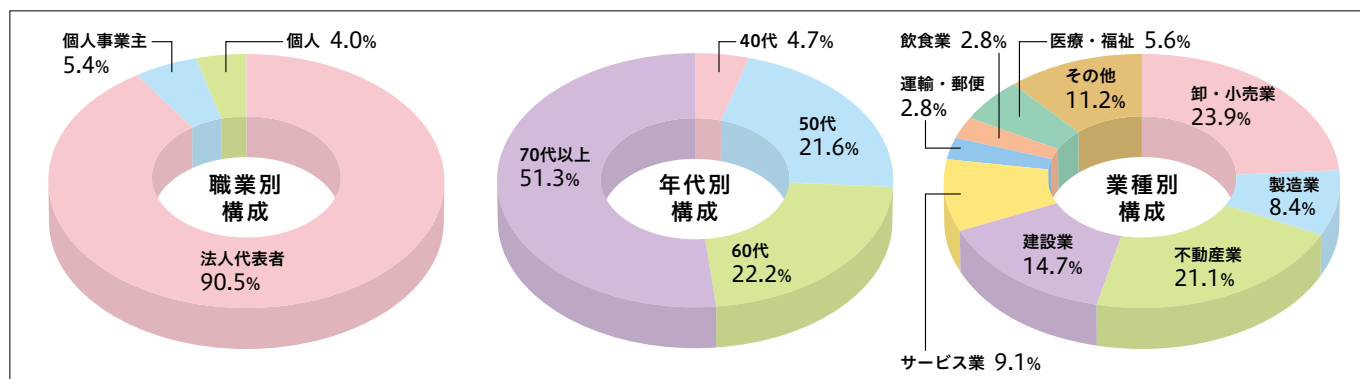
(2022年7月1日現在)

選任区域	氏 名	人数
第1区 横須賀市 (中央部・北部) 追浜町・船越町・田浦町・大滝町・ 若松町・汐入町・上町・坂本町・ 三春町・安浦町 ほか	阿久津 弘⑪ 大川 渉⑨ 大口 隆弘① 小澤 白敏⑫ 越川 昌光② 佐藤 洋幸⑤ 高橋 充① 多田 かほる② 田村 真持⑤ 橋本 祐三子② 福嶋 義信⑬ 松井 哲三⑩ 吉田 清③ 渡邊 悟⑦	14人
第2区 横須賀市 (西部) 池上・平作・衣笠栄町・小矢部・ 佐野町・公郷町・森崎・長井・武 ほか 三浦市	相澤 静夫⑥ 浅田 昌良⑥ 石川 清⑤ 石渡 庸介② 栄田 俊一⑬ 折戸 匡夫④ 小池 克彦⑨ 古敷谷 美津江③ 関矢 和吉⑪ 高木 巖③ 高梨 喜裕③ 立川 明彦② 堀 秀一⑪ 守谷 茂⑤	14人
第3区 横須賀市 (東部・南部) 大津町・久里浜・浦賀・根岸町・ 野比・長沢・津久井・馬堀町・鴨居・ 佐原 ほか	泉谷 博道③ 岩波 啓之② 臼井 功次② 古敷谷 敬二⑤ 杉山 圭一② 鈴木 孝博⑦ 高橋 拓海⑥ 玉木 弁立⑩ 長瀬 弘② 新倉 良是② 新浪 一嘉① 野村 収⑤ 橋本 篤一郎⑤ 原 慶治⑫ 藤田 和秀① 益子 健一⑦ 村松 修⑤ 森下 守久⑧ 山田 衛③	19人
第4区 横浜市 港南区・磯子区・泉区・金沢区・栄区・ 戸塚区	秋山 功⑥ 飯泉 牧太郎⑮ 尾形 正守⑥ 小澤 潔③ 小尾 一④ 葛西 延美② 金子 裕之⑥ 坂本 龍⑦ 関根 宗平⑩ 高橋 民雄① 高橋 雅人② 高橋 稔⑤ 高村 明彦② 中村 和陽① 波多野 裕⑥ 早川 恭彦③ 福嶋 浩之⑤ 福嶋 隆太郎④ 山下 光⑫ 湯澤 剛⑧ 綿貫 和浩⑪	21人
第5区 横浜市 中区・保土ヶ谷区・南区・旭区・ 神奈川区・西区・瀬谷区・鶴見区・ 緑区・青葉区・都筑区・港北区 川崎市 東京都 大田区・品川区・港区・目黒区・ 世田谷区・町田市	秋葉 菜保子② 網野 孝司⑦ 石黒 史朗② 岩澤 啓子② 植本 正太郎② 内池 直人⑨ 内田 照夫⑫ 大島 敬三⑭ 大橋 恵子① 小笠原 裕④ 荻間 勉① 尾野 靖司⑩ 金子 清人③ 神代 光人⑦ 河野 美徳① 北見 尚之⑦ 栗田 裕② 小島 弘義⑦ 関 浩二② 高岡 武⑥ 瀧澤 聡④ 竹内 英明⑥ 富田 純明⑨ 中山 徹⑥ 萩原 成樹⑩ 服部 誠④ 平沼 裕雄④ 細野 和男⑤ 牧島 功⑪ 牧田 知江子⑤ 宮崎 邦雄⑫ 村井 功誠⑭ 村岡 高幸④ 村上 常治⑥ 梁 保権①	35人
第6区 鎌倉市 逗子市 藤沢市 葉山町	大草 貴之⑤ 大崎 哲郎④ 桐ヶ谷 覚② 久保田 陽彦③ 熊澤 昇⑨ 座間 幹夫⑮ 滝本 了⑥ 武内 郁③ 竹永 達也③ 田中 博之④ 長戸 芳郎⑨ 中村 悟② 古屋 清⑩ 松谷 直⑦ 最上 重夫⑫ 望月 博④ 柳 新一郎② 柳 康弘⑥ 矢部 徹② 山口 俊明① 山田 勝久⑪ 四十八願 稔⑥ 米山 菊雄⑫	23人
第7区 茅ヶ崎市・寒川町・平塚市・海老名市・ 大和市・座間市・厚木市・綾瀬市・ 大磯町・相模原市 (旧津久井郡を除く)・ 二宮町・中井町・秦野市・伊勢原市・ 清川村・小田原市・箱根町・湯河原町	浅岡 和男③ 伊澤 敏典⑥ 伊藤 和明② 岩澤 あゆみ① 大久保 義雄① 大森 竜太郎① 小澤 八郎⑧ 小澤 雅彦② 近藤 正⑥ 島村 繁③ 下里 宏規③ 下山田 英明⑥ 新門 三千夫⑤ 永沢 武⑪ 野口 千代春⑨ 長谷川 静子② 東 泰一⑬ 樋口 公平① 前川 義憲⑧ 三澤 京子② 柳下 守康⑫ 山口 秀明②	22人

合計 148人

(五十音順、敬称略、丸数字は総代の就任回数)

▼ 総代の属性別構成



(注) 業種別の構成比は法人代表者及び個人事業主に限ります。構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。

内部管理態勢

内部管理基本方針

当金庫は、信用金庫法第36条第5項第5号および同法施行規則第23条に基づき、業務の健全性および適切性を確保するための基本方針として「内部管理基本方針」を定め、体制の整備と実効性の確保に努めています。

内部管理基本方針（概要）

1. 理事および職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制
2. 理事の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当金庫および子会社等から成る集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監事がその職務を補助すべき職員を置くことを求めた場合における当該職員に関する事項
7. 監事の職務を補助すべき職員の理事からの独立性および当該職員に対する指示の実効性の確保に関する事項
8. 監事への報告に関する体制
9. 監事への報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取り扱いを受けないことを確保するための体制
10. 監事の職務の執行について生ずる費用の前払いまたは償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用または債務の処理に係る方針に関する事項
11. 監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

リスク管理態勢

統合的リスク管理態勢

基本方針

統合的リスクとは、当金庫の直面するリスクに関して、それぞれのリスク・カテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、当金庫の経営体力（自己資本）と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。また、管理すべきリスクの種類は随時見直し、環境変化に応じて新たに発生したリスクへの管理も行うこととしています。

当金庫は業務全般にわたってリスクが存在することおよびそのリスクを見逃すことがお客さまの信頼や当金庫の経営に重大かつ深刻な影響を与える可能性が高いことを強く認識し、内在する各種リスクを業務やリスクの特性に応じて適切に管理し、コントロールしていくことを経営上の最重要課題として受け止め、リスクとリターンの適切なバランスを確保すべく、リスク管理態勢の充実・強化に取り組んでいます。

当金庫では、リスクを「信用リスク」、「市場リスク」、「流動性リスク」、「オペレーショナル・リスク」に分類し、各リスクの特性に応じた管理を行っています。

また、「統合的リスク管理方針」および「統合的リスク管理規程」等を制定し、より高度な統合的リスク管理に努めるべく、常務会、リスク管理委員会、その下部組織である各種リスク管理委員会を中心に徹底した統合的リスク管理に取り組んでいます。

信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランス資産を含む）の価値が減少ないし消失して、当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、信用リスクを管理すべき最重要リスクの一つであると認識し、当該リスクに関する「信用リスク管理方針」および「信用リスク管理規程」を制定し、広く役職員に理解と遵守を促すとともに、管理態勢の強化を図っています。また、ホームページ上に融資基本姿勢（クレジット・ポリシー）を掲示し対外的にも明示しています。

信用リスクの評価については、厳格な資産の自己査定を実施し、回収の危険性や価値の毀損度合を的確に把握しています。また、正確な自己査定および適正な償却・引当の基礎となる信用格付につい

ては法人に加えて個人事業者も対象としており、ご融資のある取引先の財務データ蓄積の順調な増加により、信用リスク計量化の基礎構築は大きく前進しています。

信用リスクの管理については、信用リスク管理委員会を設置し、貸出金の動向、不良債権の発生・回収状況等の報告をもとに、信用リスクに関する様々な分析・検討を行っています。

市場リスク管理

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等の様々な市場のリスクファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む）の価値が変動して損失を被るリスクです。

当金庫では、市場リスクを適切に管理し、コントロールすることが収益の安定確保につながるとの認識から、ALM委員会を設置し、オンライン勘定系システムに連動したALMシステムを活用しながら、預金（調達）・貸出金（運用）金利を決定したり、有価証券の運用状況等を管理しています。

市場リスクについては、「市場リスク管理方針」および「市場リスク管理規程」に基づき適切な管理に努め、統計的手法（VaR）によるリスク量の計測・異常な事態を想定したストレステストや実際の損益との比較をするバックテスティングを行い、常にリスク管理の高度化・精緻化に努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、調達と運用の期間のミスマッチや予期しない預金の流出等により資金手当が必要な場合に、市場から資金が調達できなかったり、著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりすることにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「流動性リスク管理方針」および「流動性リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに手元流動性資金を十分に確保し、万全の体制を整えています。また、余裕資金の運用については、安全性、流動性が高く、即資金化できる短期運用資産の充実に努め、適正な支払準備資産を確保しています。

流動性リスクの管理については、ALM委員会を設置するとともに、日次でリスク量の計測を行っています。「流動性危機管理マニュアル」では、資金繰りの状況に応じた「平常時」「懸念時」「危機時」の判定基準、および「懸念時」「危機時」の対応について定めています。

オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、金庫の業務の過程、役職員の活動、若しくはシステムが不適切であること、または、外生的な事象により損失を被るリスクです。

当金庫では、さらに事務リスク、システムリスク、その他リスク（人的リスク、有形資産リスク、風評リスク、法務リスク）に分類しています。

当金庫では、「オペレーショナル・リスク管理方針」に基づき適切な管理に努めるとともに、常務会・リスク管理委員会において総合的な管理を行っています。

● 事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が事務処理をルール通り正確に行わないことや、事故・不正等を起こすことにより損失を被るリスクです。

当金庫では、「事務リスク管理方針」および「事務リスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに各業務を主管する本部各部署において、事務取扱規程・要領等の整備に努め、事務処理能力の向上を図るとともに各種事務の機械化を積極的に推進することにより厳正な事務処理体制の整備を行っています。

内部管理態勢の検証と事故・不正等の未然防止に関しては、事務・システムリスク管理委員会を設置し、定期的な委員会の開催により事務リスクの把握に努め、事務処理手続き等の周知・徹底と厳正化を図っています。また、対象事務を主管する本部各部署が策定した検査項目を、自店検査として営業店自らが検証することで内部牽制機能を発揮するとともに、主管する本部各部署は事後検証等による不備項目等の把握と再発防止策の立案等により、PDCAサイクルの確立を図っています。事務・システムリスク管理委員会では、自店検査で判明した不備項目等を定期的に報告させ、主管する本部各部署に対して改善指導の実施を促します。

● システムリスク管理

システムリスクとは、コンピューターシステムのダウン又は誤作動等によるシステム障害ならびにコンピューターの不正使用、サイバーセキュリティ事案等により当金庫が損失を被るリスクです。

当金庫では、「システムリスク管理方針」および「システムリスク管理規程」に基づき適切な管理に努めるとともに、管理すべきリスクの所在・種類・特性を明確にし、厳格なセキュリティ管理とシステム監査およびモニタリングを実施して、安定的な業務遂行のための態勢強化を図っています。また湘南信用金庫CSIRTを設置し、サイバーセキュリティ事案に関して、当金庫外で発生した事案の情報収集、分析・評価、および未然防止策の検討・実施と、金庫で発生

した場合の迅速な情報連携、早期復旧、および再発防止策の検討を行っています。

事務・システムリスク管理委員会では、システムリスク管理のモニタリング結果を検証し、必要に応じて管理方法の運用改善を図っています。

● 人的リスク管理

人的リスクとは、人事運営上の不公平・不公正（報酬・手当・解雇等の問題）から生じる損失・損害などを被るリスクです。

当金庫では、適切な人事管理および人事運営を行うことを基本とし、教育・研修や職場指導等により、損失の未然防止・極小化を図っています。また、人的リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 有形資産リスク管理

有形資産リスクとは、有形資産の毀損・損害などを被るリスクです。

当金庫では、所有する動産・不動産の所在および現状を把握し、災害や不法行為等による被害に備え適切な管理を行っています。また、有形資産リスクが経営に大きな影響を与えるものと認識し、常務会において管理を行っています。

● 風評リスク管理

風評リスクとは、事実の有無にかかわらず世間一般で当金庫の信用に悪影響を及ぼす風評が広まることにより損失を被るリスクです。

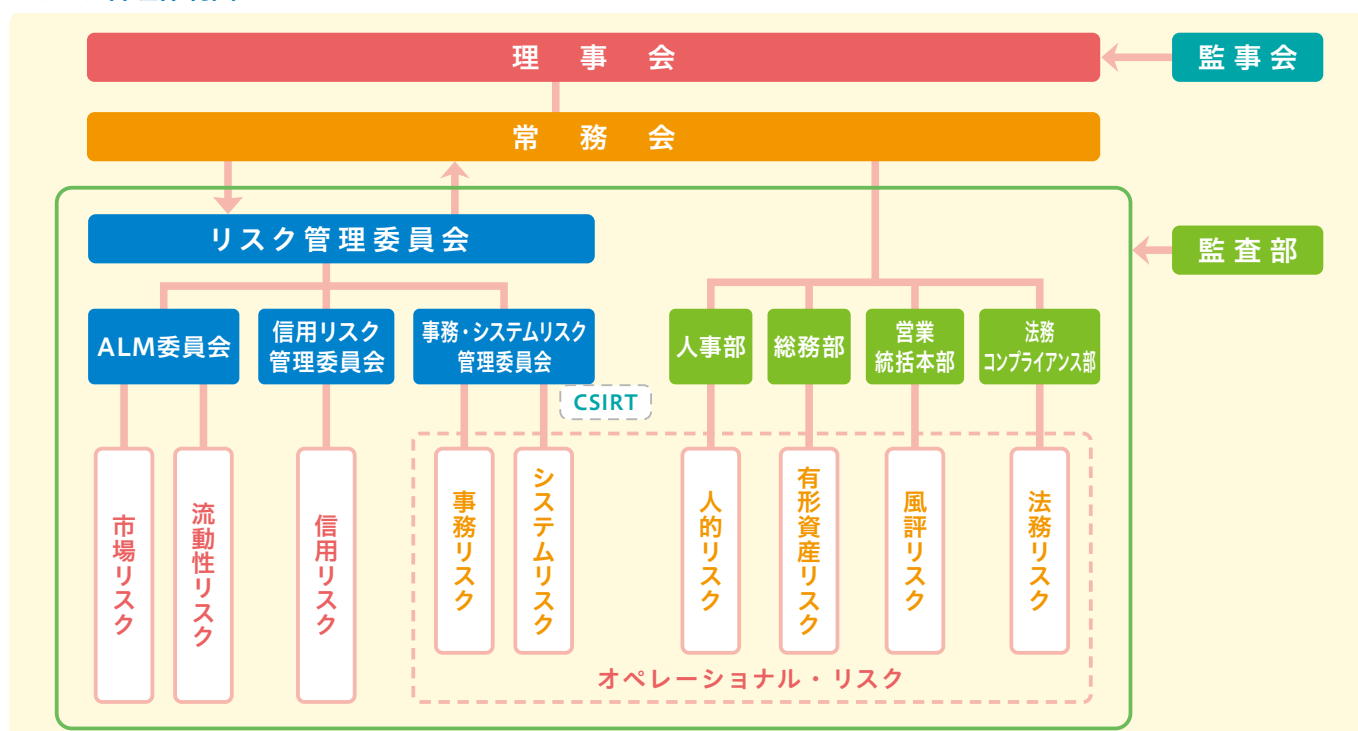
当金庫では、風評リスクが経営に与える影響は非常に大きいものであると認識し、風評の早期発見に努めるとともに緊急度・影響度等の観点から適切に対応することで損失の極小化を図り、風評の急激な悪化やそれに伴う不測の事態に備えるため「風評リスク管理マニュアル」を制定するとともに、常務会において管理を行っています。

● 法務リスク管理

法務リスクとは、当金庫および役職員等が各種法令に抵触する行為を行うことにより損失を被るリスクです。

当金庫の社会的使命と公共性の自覚のもと、法規範並びに社会規範の厳格な遵守を維持し、事業・業務運営等の活動にあたって、様々な状況下で発生する法務リスクについて、有効・適切な組織対応を実現するため「法務問題の一元管理に関する規程」を定めています。また、統括部署として「法務コンプライアンス部」を設置し、適法・適切かつ公正な問題解決の早期実現と、法務リスクの最大限の回避を図り、もって社会の要請に応えることを目指し、常務会の指導のもと厳格な管理を行っています。

▼ リスク管理体制図



法令等遵守態勢・顧客保護等管理態勢・金融ADR制度への対応

法令等遵守態勢

基本方針

当金庫は、理事および職員並びに当金庫の子会社、関連会社等の取締役および使用人の職務の執行において、法令および定款に適合することを確保するための態勢を構築し適切な運用を図ることにより、業務の健全性および適切性を確保し社会的規範にもとることのない経営活動を行っています。また、業務に適用される法令等を遵守するとともに反社会的勢力との関係遮断および取引排除並びにマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与に関係する取引を排除することにより、誠実かつ公正な活動を行うように努めています。

法令等遵守の運営態勢

当金庫は、本部各部室および営業店が実施する法令等遵守に関する事項の統括機能を有する部署として法務コンプライアンス部を設置しています。管理態勢については、統括部門である法務コンプライアンス部と実施部門である本部各部室および営業店で構成し、各実施部門にはコンプライアンス委員を配置のうえ管理運用を行っています。

法務コンプライアンス部は牽制機能を発揮するため、実施部門がコンプライアンスプログラムを効率的・効果的に実施しているかを検証するほか、法令等遵守に関する情報収集・調査・分析を行います。本部各部室および営業店のコンプライアンス委員は法令等遵守管理担当者として、各部室店長と連携してコンプライアンスプログラムを着実に実施しています。また、各部室店長およびコンプライアンス委員は、重要な事案が生じた場合には速やかに統括部門に報告するように指導しています。

顧客保護等管理態勢

基本方針

当金庫は、顧客保護等管理態勢を構築し、適切な運用を図ることにより業務の健全性および適切性を確保することを目的としています。また、お客さまの保護および利便性向上の観点から、①「顧客説明」（商品説明、取扱い説明等）②「顧客サポート等」（苦情・要望・相談等）③「顧客情報管理」（法人を含む顧客情報の管理等）④「外部委託管理」⑤「利益相反管理」⑥「その他顧客保護等」（顧客利便性の向上への取組）等を達成するため必要となる管理を行っています。

顧客保護等の運営態勢

当金庫は、顧客保護等管理を統括する責任者として「顧客保護等管理責任者」を置くとともに常務会、管理責任者の役割・責任をしっかりと定めています。また「顧客保護等基本姿勢」や「個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）」を公表しています。

顧客保護等管理の主管部署を法務コンプライアンス部とするほか、本部担当部署については各管理項目および組織管理規程を踏まえ、顧客保護等管理規程において明確化しています。さらに本部各部担当部署および営業店の実施する自主点検の結果を検証し、指導・監督を行う態勢を構築しています。

金融ADR制度への対応

▼金融ADR制度とは

簡易・迅速な紛争解決を実現する裁判外紛争解決制度のことをいいます。

苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情お申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ、パンフレット等で公表しています。

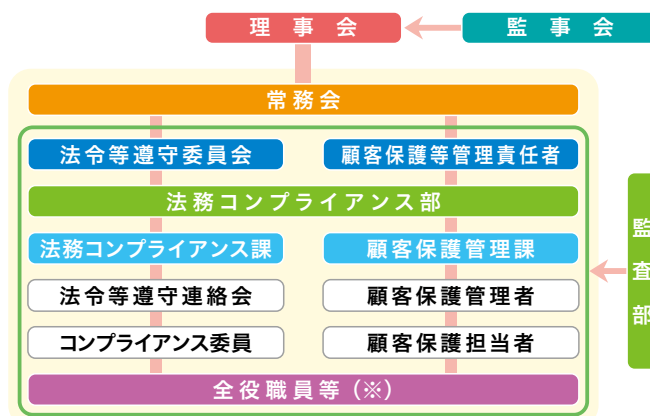
苦情は、当金庫営業日（9時～17時）に営業店またはお客様相談室（フリーダイヤル：0120-001-941）にお申し出ください。

紛争解決措置

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記お客様相談室または全国しんきん相談所（9時～17時、電話：03-3517-5825）、関東地区しんきん相談所（9時～17時、電話：03-5524-5671）にお申し出があれば、東京弁護士会（電話：03-3581-0031）、第一東京弁護士会（電話：03-3595-8588）、第二東京弁護士会（電話：03-3581-2249）、神奈川県弁護士会（電話：045-211-7716）の仲裁センター等にお取次ぎします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会等において東京の弁護士会の調停人と、テレビ会議システム等を用いる方法（現地調停）や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法（移管調停）があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、神奈川県弁護士会、関東地区しんきん相談所、全国しんきん相談所または当金庫のお客さま相談室」にご照会ください。

投資信託や公共債等の証券業務に関する紛争は、当金庫が加入する日本証券業協会から紛争解決のあっせん等の委託を受けた「特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（ADR FINMAC）」（フリーダイヤル：0120-64-5005）でも受付けています。

コンプライアンス（法令等遵守）・顧客保護等管理体制図

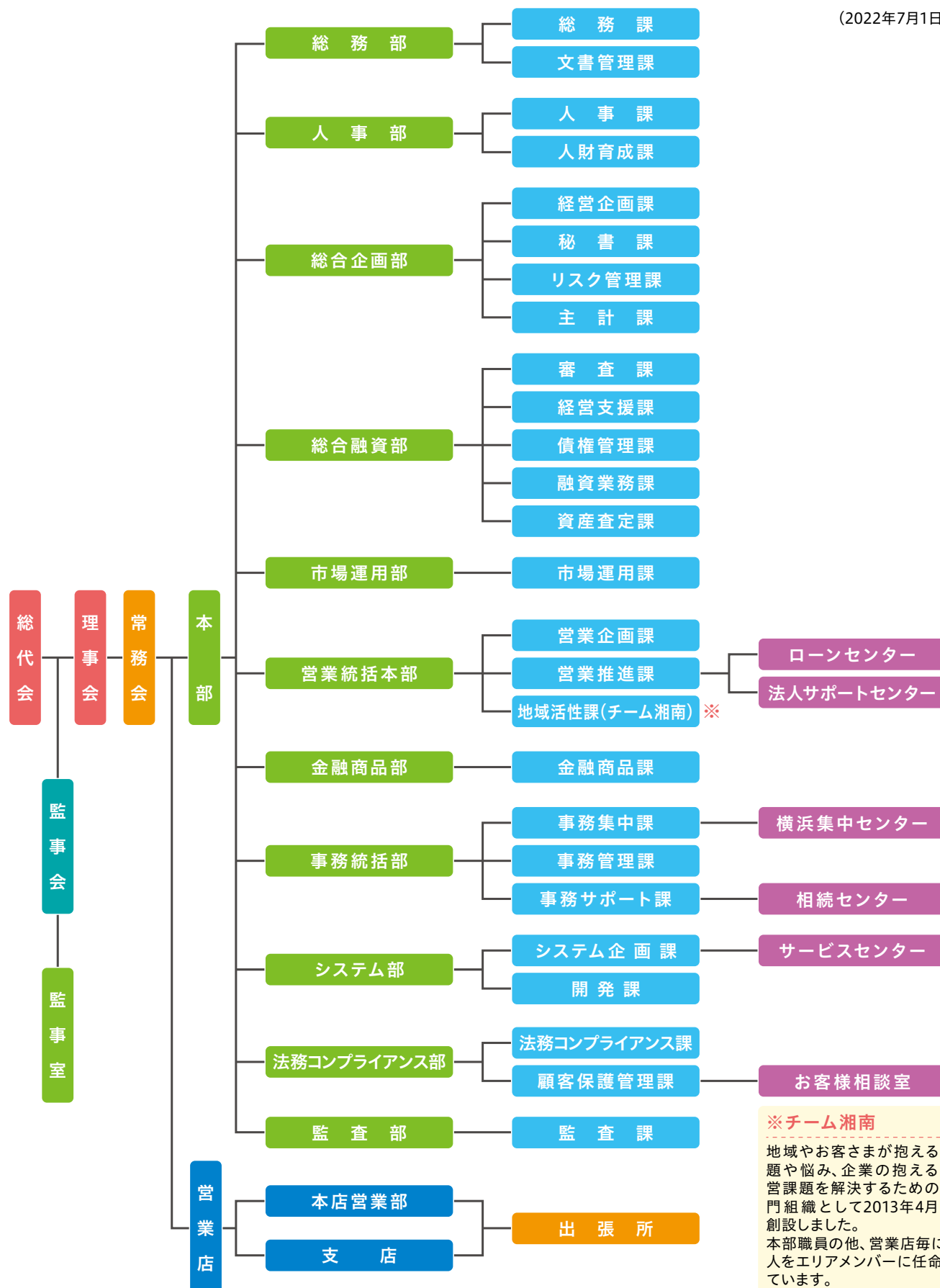


※子会社等の取締役等および使用人を含む

組織

事業の組織図

(2022年7月1日現在)



経営体制

▼ 役員

理事長 (代表理事)	鷲尾 精一	監査部担当
専務理事 (代表理事)	齋藤 篤志	総合融資部担当
専務理事 (代表理事)	二本木 岳彦	市場運用部・営業統括本部（営業企画課・地域活性化課）・金融商品部担当
常務理事 (代表理事)	保要 順一	人事部・総合企画部（リスク管理課・主計課）担当
常務理事	風呂本 将憲	総務部・営業統括本部（営業推進課）担当
常務理事	江良 成可 ^{※1}	総合企画部（経営企画課・秘書課）担当
常勤理事	永井 環	事務統括部・システム部・法務コンプライアンス部担当
理事	佃 一男 ^{※1}	
常勤監事	古屋 幹男	
監事	渡邊 定義 ^{※2}	
監事	濱田 ひろ子	

※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事

※2 信用金庫法第32条5項に定める員外監事

役員、執行役員、相談役は、2022年6月23日現在です。

▼ 報酬体系

1. 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、常勤理事及び常勤監事をいいます。対象役員に対する報酬等は職務執行の対価として支払う「基本報酬」で構成されています。なお、「賞与」、「退職慰労金」はありません。

(1) 報酬体系の概要

非常勤を含む全役員の基本報酬につきましては、総代会において理事全員及び監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しています。そのうえで、各理事の基本報酬につきましては役位や在任年数、前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しています。また、各監事の基本報酬につきましては、監事会の協議により決定しています。

(2) 2021年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

区 分	支払総額（単位：百万円）
対象役員に対する報酬	91

(注) 1.対象役員に該当する理事は7名、監事は3名であり、期中に理事を退任した者も含めています。

2.上記内訳は「基本報酬」のみです。

▼ 執行役員

執行役員	小峰 浩	総合企画部担当
執行役員	西山 国男	総合融資部担当
執行役員	戸部 淳	総務部担当
執行役員	石田 貴一	本店営業部担当
執行役員	遠藤 正二	鎌倉営業部担当
執行役員	片倉 昌幸	営業統括本部担当
執行役員	高山 士郎	システム部担当
執行役員	武藤 晴之	伊勢佐木町支店担当
執行役員	中嶋 孝誌	横浜西口支店・藤棚中央支店担当
執行役員	菅野 敦	茅ヶ崎営業部担当
執行役員	鶴岡 直文	久里浜支店担当

▼ 相談役

相談役	石渡 卓
-----	------

(3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」（平成24年3月29日付金融庁告示第22号）第2条第1項第3号・4号及び6号に該当する事項はありませんでした。

2. 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の非常勤役員、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子法人等の役職員であって、対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務及び財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。なお、2021年度において対象職員等に該当する者はありません。

(注) 1.対象職員等には、期中に退任・退職した者を含めています。
2.「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。なお、当金庫の主要な連結子法人等の役職員に該当者はありませんでした。
3.「同等額」は、2021年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としています。
4.「当金庫の業務及び財産の状況に重要な影響を与える者」は経営層の意思決定に直接助言しうる職員として「執行役員・参事」を対象として判断しています。

湘南しんきんのあゆみ

大正	13年 3月	有限責任横須賀信用組合創立	
昭和	7年 11月	茅ヶ崎信用組合創立	26年 11月 信用金庫法に基づき茅ヶ崎信用金庫に改組
	25年 8月	鎌倉市信用組合創立	27年 3月 信用金庫法に基づき鎌倉信用金庫に改組
	26年 10月	信用金庫法に基づき横須賀信用金庫に改組	62年 4月 ホールくりはま、ギャラリーくりはまオープン
平成	元年 7月	横須賀信用金庫と鎌倉信用金庫が合併し、湘南信用金庫が誕生	20年 6月 湘南信用金庫第五代理事長に石渡 卓が就任
	元年 9月	社内報「湘南の風」創刊号発刊	22年 2月 中小企業診断士育成制度開始
	2年 1月	第1回湘南しんきん友の会旅行を実施	22年 4月 認知症サポーター全役職員取得
	2年 7月	預金量5千億円達成	24年 1月 学校法人神奈川大学と産学連携協定を締結
	3年 7月	茅ヶ崎信用金庫と合併	24年 11月 経営革新等支援機関に認定
	4年 1月	湘南地域独自の経済情報誌「SHONAN 景況レポート」発行	25年 3月 各店舗に普通救命技能を持つ職員を配置
	6年 11月	東京大和信用組合と合併	25年 4月 お客さまの抱える課題・問題を解決することを主の活動目的とする、地域活性課「チーム湘南」を創設
	8年 8月	ホームページ開設	25年 5月 茅ヶ崎市と「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」を締結
	9年 11月	イラストレーター鈴木 英人氏と版画使用契約締結	25年 5月 寒川町と「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」を締結
	10年 6月	第1回信用金庫社会貢献賞「特別賞」を受賞 (ボランティア出向制度)	25年 6月 逗子市・社会福祉法人逗子市社会福祉協議会と「地域見守り活動に関する協定」を締結
	10年 10月	ギャラリーおおぐちオープン	25年 7月 三浦市と「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」を締結
	10年 10月	第53回かながわ・ゆめ国体軟式野球大会で当金庫野球部が全国優勝	25年 7月 横須賀市と「地域の見守り活動に関する協定」を締結
	10年 12月	投資信託業務窓口販売開始	25年 8月 鎌倉市と「共同研究に関する協定」を締結
	11年 3月	信金業界のトップを切り、全国の郵便局と業務連携、ATMの相互利用を開始	25年 8月 藤沢市と「地域見守り活動に関する協定」を締結
	11年 5月	ATM365日稼働実施	25年 9月 葉山町と「地域見守り活動に関する協定」を締結
	12年 9月	働くお母さんを支援する駅前保育施設「湘南アイルド（茅ヶ崎）」開園（株式会社 湘南悠遊倶楽部）	26年 3月 金庫創立90周年
	14年 3月	神奈川県青果信用組合の事業譲受	27年 5月 学校法人関東学院大学と「産学連携に関する協定」を締結
	14年 6月	インターネットバンキング（湘南ダイレクトサービス）取扱開始	27年 6月 第18回信用金庫社会貢献賞「Face to Face賞」を受賞 (久里浜おつかい便「御用聞きプロジェクト」)
	14年 10月	生命保険窓口販売開始	28年 2月 神奈川県と中小企業・小規模企業活性化の推進に関する協定を締結
	14年 11月	上大岡ローンセンター開設	28年 2月 学校法人鎌倉女子大学と「産学連携に関する協定」を締結
	15年 6月	個人向け国債窓口販売開始	28年 3月 ライフプランアドバイザー（LA）制度の発足
	15年 11月	法人・事業者向けインターネットバンキング「湘南ビジネスダイレクト」取扱開始	28年 7月 タブレット端末でペーパーレス会議を開始
	16年 4月	働くお母さんを支援する駅前保育施設「湘南アイルド（逗子）」開園（有限会社 湘南アイルド）	29年 9月 次世代特例認定マーク「プラチナくるみん」認定取得
	16年 10月	本店ローンセンター開設	30年 2月 横浜法人サポートセンターを設置
	17年 9月	若手経営者の育成を目的に「しょうなん経営塾」を開講	30年 7月 学校法人横浜商科大学と「産学連携に関する協定」を締結
	17年 12月	預金量1兆円を達成	30年 10月 学校法人神奈川歯科大学と「産学連携に関する協定」を締結
	19年 1月	新勘定系システムSBOCをスタート	31年 3月 女性職員の制服廃止
令和	元年 5月	「湘南しんきんSDGs宣言」を公表	2年 6月 湘南信用金庫第六代理事長に鷲尾 精一が就任
	元年 6月	本部本館壁面に「SHONAN」ネオン看板設置	2年 8月 庫内報「湘南の風」をWEBで配信
	元年 7月	湘南しんきん誕生30周年	3年 1月 横須賀市の「お土産開発支援事業」が当金庫の推薦で「SCBふるさと応援団」に選出
	元年 9月	出資証券ペーパーレス化（不発行）を実施	3年 2月 逸見支店、池上支店の「窓口営業時間」および「取扱業務」を変更
	元年 10月	「かながわSDGsパートナー」に登録	3年 4月 しんきんバンキングアプリの取扱開始
	元年 12月	スマホ決済サービス「メルペイ」との口座連携開始	3年 10月 「通年ノーネクタイ」を実施
	2年 1月	創立100周年に向けたイメージポスター制作	3年 11月 腰越支店を深沢支店内に移転 藤棚中央支店を横浜西口支店内に移転
	2年 3月	預金規定等を電子化	3年 11月 湘南法人サポートセンター、事務サポート課を設置
	2年 5月	出資会員の優待制度開始	3年 12月 営業店支援システムを導入

事業内容

▼ 金庫の主要な事業の内容

預金業務	当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金、譲渡性預金等を取り扱っています。
貸出業務	(貸付) 手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取り扱っています。 (手形の割引) 銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形等の割引を取り扱っています。
有価証券投資業務	預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しています。
内国為替業務	送金為替、当座振込及び代金取立等を取り扱っています。
外国為替業務	輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っています。
附帯業務	代理業務 日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務 地方公共団体の公金取扱業務 株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 信金中央金庫等の代理貸付業務
	保護預り及び貸金庫業務
	有価証券の貸付
	債務の保証
	金の売買
	公共債の引受
	国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売
	保険商品の窓口販売（保険業務法第275条第1項により行う保険募集）
	確定拠出年金法により行う業務
	電子債権記録機関の委託を受けて行う電子債権記録業に係る業務

信用金庫と銀行との違い

金融サービスは同じでも、「信用金庫」と「銀行」では経営理念の違いで組織のあり方が異なります。

「信用金庫」は、主な取引先である営業地域内の中小企業や個人が会員となり、互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関です。3つのビジョン「地域社会繁栄への奉仕」「中小企業の健全な発展」「豊かな国民生活の実現」を掲げ、株式会社である「銀行」と異なり利益第一主義ではなく、会員すなわち地域社会の利益が優先されます。

さらに、「信用金庫」の営業地域は一定の地域に限定されており、お預かりした資金はその地域の発展に生かされている点も「銀行」と大きく異なります。

比較項目	信用金庫	銀行
根拠法	信用金庫法（1951・昭和26年）	銀行法（1981・昭和56年）
特色 （目的と性格）	地域の中小企業ならびに個人のための 金融の円滑化を目的とする	不特定多数の企業と個人のための 金融業務を行う
経営形態	会員の出資による協同組織の非営利法人 一人一票の原則による民主的経営 （意思決定機関→総会（総代会）、理事会）	株式会社組織 経営政策は株式多数保有者の利益を強く反映し、 利益先行性が強い （意思決定機関→株主総会、取締役会）
営業地域	制限あり（定款で定める） 限定された地域を営業基盤とする	制限なし（定めなし） 広域を営業基盤とする
会員資格 （取引対象）	・地区内に住所または居所を置く従業員300人以下 または資本金9億円以下の中小企業または個人 ・地域内で働く個人等	なし
業務範囲	預金の制限なし、融資は原則として会員に限る	制限なし

主な手数料

(税込)

▼ 振込手数料

項 目		単位・区分	当金庫同一店舗宛	当金庫他店宛	他金融機関宛
ATM利用	現金扱	3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
	キャッシュカード扱	3万円以上	無料	220円	550円
		3万円未満	無料	110円	385円
窓口利用	電信扱文書扱	3万円以上	440円	440円	880円
		3万円未満	220円	220円	660円
定額自動送金※1		3万円以上	330円	330円	660円
		3万円未満	110円	110円	440円
湘南ダイレクト 個人向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	440円
		3万円未満	無料	無料	275円
湘南ビジネスダイレクト 法人事業者向けインターネットバンキング		3万円以上	無料	無料	550円
		3万円未満	無料	無料	330円

※1 定額自動送金は、振込手数料の他に1件ごと毎月110円の取扱手数料がかかります。

▼ 手形・小切手交付手数料

項 目		単位・区分	金額
手形・小切手 用紙料金	約手、為手	1冊 (25枚)	880円
		1枚	55円
	当座小切手	1冊 (50枚)	1,320円
署名鑑印刷	登録料		5,500円
	約手、為手	1冊 (25枚)	770円
		1枚	66円
	当座小切手	1冊 (50枚)	1,320円
自己宛小切手		1枚	880円

▼ 両替手数料

項 目	単位・区分	金額
円貨両替手数料 窓口扱	1～50枚	110円
	51～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 金種指定払戻手数料

項 目	単位・区分	金額
金種指定払戻手数料	1～50枚	無料
	51～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 硬貨取扱手数料

項 目	単位・区分	手数料
硬貨取扱手数料	1～500枚	無料
	501～1,000枚	440円
	1,001～2,000枚	880円
	2,001～3,000枚	1,320円
	以後、1,000枚毎	440円

▼ 各種発行手数料

項 目	単位・区分	金額
残高証明発行手数料	1種目	330円
監査法人等からの 取引確認書発行手数料	1通	1,100円
再発行手数料 (通帳、証書、キャッシュカード等)	1冊・1枚	1,100円

▼ 夜間金庫手数料

項 目	単位・区分	金額
夜間金庫月額利用料	1件	8,800円
夜間金庫専用入金票	1冊 (50枚)	5,500円
夜間金庫使用袋	1袋	1,100円

▼ 融資関連手数料

項 目	単位・区分	金額
貸付用約束手形	1枚	55円
全額繰上返済、一部繰上返済 ^{※2}	1件	5,500円
事業性融資新規取扱手数料	1件	11,000円
融資実行手数料	1件	2,200円
条件変更手数料 (金利変更)	1件	5,500円
条件変更手数料 (金利変更以外)	1件	3,300円
不動産担保調査手数料 ^{※3}		
設定額5千万円以下	1件	55,000円
設定額5千万円超2億円以下	1件	77,000円
設定額2億円超	1件	110,000円
不動産担保内容変更手数料	1件	11,000円
不動産担保抹消立会手数料	1回	11,000円
不動産担保一部抹消手数料	1件	2,200円

※2 別途繰上返済に関して特約書を差し入れていただいている場合の繰上返済手数料は、その特約書に定められた金額となります。

※3 神奈川県・東京都以外の遠隔地は上記に22,000円加算し、別途交通費、宿泊費等の実費を別途請求します。

▼店舗配置

※●●●●●の中の数字は店番を示しています。

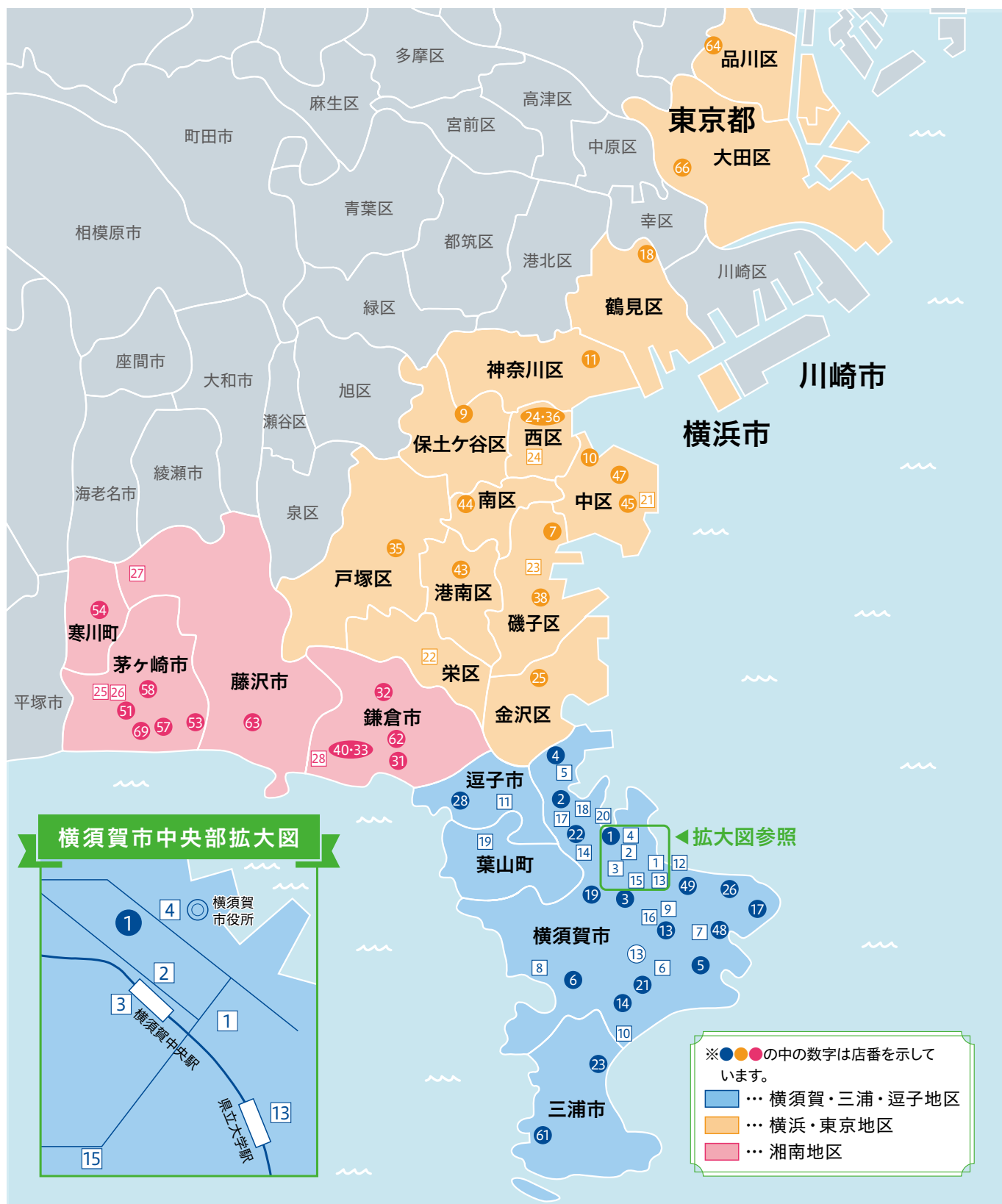
(2022年7月1日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 本店営業部	横須賀市大滝町2-2	①⑨ 池上支店	横須賀市池上4-1-4
	② 田浦支店	横須賀市船越町1-45	②① 野比支店	横須賀市野比1-8-27
	③ 衣笠支店	横須賀市衣笠栄町1-70	②② 逸見支店	横須賀市東逸見町2-81
	④ 追浜支店	横須賀市追浜本町1-1	②③ 三浦海岸支店	三浦市南下浦町上宮田3115
	⑤ 久里浜支店	横須賀市久里浜4-8-17	②⑥ 馬堀支店	横須賀市馬堀町3-2-1
	⑥ 武山支店	横須賀市林1-1-6	②⑧ 逗子支店	逗子市逗子1-1-3
	⑬ 北久里浜支店	横須賀市根岸町3-3-8	④⑧ 浦賀支店	横須賀市浦賀3-2-16
	⑬ 岩戸出張所	横須賀市岩戸4-23-10	④⑨ 堀ノ内支店	横須賀市三春町3-25
	⑭ 長沢支店	横須賀市グリーンハイツ3-5	⑥① 三崎支店	三浦市三崎町諸磯975
	⑰ 鴨居支店	横須賀市鴨居1-10-14	(横須賀・三浦・逗子地区 18店舗・1出張所)	
横浜・東京地区	⑦ 磯子支店	横浜市磯子区中浜町15-13	③⑧ 杉田支店	横浜市磯子区杉田1-19-17
	⑨ 保土ヶ谷支店	横浜市保土ヶ谷区和田1-17-3	④③ 上大岡支店	横浜市港南区上大岡西1-18-3
	⑩ 伊勢佐木町支店	横浜市中区長者町8-134	④④ 永田支店	横浜市南区永田北3-3-12
	⑪ 大口支店	横浜市神奈川区大口通127-9	④⑤ 本郷町支店	横浜市中区本郷町2-51
	⑱ 矢向支店	横浜市鶴見区矢向6-12-7	④⑦ 元町中華街支店	横浜市中区山下町112
	②④ 横浜西口支店	横浜市西区南幸2-13-12	⑥④ 小山支店	東京都品川区小山4-5-4
	②⑤ 能見台支店	横浜市金沢区能見台通7-25	⑥⑥ 本門寺前支店	東京都大田区池上6-3-8
	③⑤ 戸塚支店	横浜市戸塚区上倉田町498-9	(横浜・東京地区 16店舗)	
	③⑥ 藤棚中央支店	横浜市西区南幸2-13-12 (横浜西口支店内)		
湘南地区	③① 鎌倉営業部	鎌倉市御成町4-13	⑤⑦ 若松町支店	茅ヶ崎市旭が丘2-33
	③② 大船支店	鎌倉市大船1-4-1	⑤⑧ 高田支店	茅ヶ崎市鶴が台1-2
	③③ 腰越支店	鎌倉市常盤82 (深沢支店内)	⑥② 鎌倉駅前支店	鎌倉市御成町11-39
	④⑦ 深沢支店	鎌倉市常盤82	⑥③ 藤沢支店	藤沢市鵜沼橋1-1-2
	⑤① 茅ヶ崎営業部	茅ヶ崎市新栄町8-4	⑥⑨ 茅ヶ崎南口支店	茅ヶ崎市幸町22-6-102
	⑤③ 小和田支店	茅ヶ崎市浜竹3-2-32	(湘南地区 12店舗)	
	⑤④ 寒川支店	高座郡寒川町岡田1-3-2		

▼店舗外ATM配置

(2022年7月1日現在)

横須賀・三浦・逗子地区	① 横須賀共済病院出張所	横須賀共済病院内	①① 東逗子出張所	ヨークマート東逗子店正面入口(水道道側)
	② 横須賀中央出張所	中央大通りからヨコビル1階	①② リヴィンよこすか店出張所	リヴィンよこすか店内
	③ モアーズシティ出張所	京急横須賀中央駅西口 モアーズシティ内	①③ 安浦出張所	京急県立大学駅そば徒歩0分
	④ 横須賀市役所出張所	市役所北口駐車場側入口並び	①④ 汐入出張所	京急汐入駅から坂本方面徒歩2分
	⑤ 京急ストアパーク浦郷店出張所	京急ストアパーク浦郷店駐車場内	①⑤ 上町出張所	不入斗橋バス停そば
	⑥ 京急ストアハイランド店出張所	京急ストアハイランド店隣接	①⑥ 根岸出張所	神奈川県立横須賀工業高等学校そば
	⑦ ローゼン湘南山手出張所	相鉄ローゼン湘南山手店内	①⑦ 南田浦出張所	横須賀基督教社会館並び
	⑧ 京急ストア芦名店出張所	京急ストア芦名店入口	①⑧ 京急ストア安針塚店出張所	京急安針塚駅前 京急ストア安針塚店内
	⑨ 京急ストアパーク北久里浜出張所	京急ストアパーク北久里浜店隣接	①⑨ HAYAMA STATION出張所	ショッピングプラザHAYAMA STATION入口
	⑩ 京急ストア津久井浜店出張所	京急ストア津久井浜店内	②⑦ Coaska Bayside Stores出張所	Coaska Bayside Stores内
横浜・東京地区	②① 本牧第一福祉センター出張所	本牧ふ頭D突堤 湾港労働者福祉センター1F	②④ 藤棚中央出張所	京急戸部駅から徒歩10分 西前銀座商店街
	②② 公田出張所	栄警察署斜め前		
	②③ 京急ストア屏風浦店出張所	京急ストア屏風浦店内		
湘南地区	②⑤ 富士スーパー鶴嶺店出張所	富士スーパー鶴嶺店駐車場内	②⑦ 用田出張所	御所見市民センター前バス停そば
	②⑥ イオン茅ヶ崎中央店出張所	イオン茅ヶ崎中央店内	②⑧ 腰越出張所	江ノ電 腰越駅そば



▼ 営業地区

神奈川県	横須賀市、逗子市、三浦市、三浦郡葉山町、横浜市、川崎市、鎌倉市、藤沢市、大和市、茅ヶ崎市、高座郡寒川町、平塚市、海老名市、綾瀬市、厚木市、相模原市（旧津久井郡を除く）、座間市、中郡大磯町、中郡二宮町、足柄上郡中井町、秦野市、伊勢原市、愛甲郡清川村、小田原市、足柄下郡箱根町、足柄下郡湯河原町
東京都	大田区、品川区、目黒区、港区、世田谷区、町田市

「計数編」のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、「計数編」を作成しています。「計数編」は、当金庫ホームページにてご覧いただけます。



